

September 3, 2021

【前日の為替概況】リスクオン地合いでユーロ上昇 対ドル 1.1876ドル、対円は 130.59 円

2 日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは 3 日続伸。終値は 1.1875 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1839 ドル) と比べて 0.0036 ドル程度のユーロ高水準だった。前週分の米新規失業保険申請件数が 34.0 万件と予想の 34.5 万件より強い内容だったことが分かる、一時 1.1837 ドル付近まで下押しする場面もあったが、アジア時間に付けた日通し安値 1.1835 ドルがサポートとして働く買い戻しが優勢に。米国株式市場でナスダック総合や S&P500 種株価指数が史上最高値を更新し、ダウ平均が一時 160 ドル超上昇すると、リスク・オンのドル売りも広がった。前日の高値 1.1857 ドルを上抜けて一時 1.1876 ドルと 8 月 4 日以来約 1 カ月ぶりの高値を更新した。

主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時 92.21 と 8 月 5 日以来の安値まで下げた。

ユーロ円は 5 日続伸。終値は 130.56 円と前営業日 NY 終値 (130.25 円) と比べて 31 銭程度のユーロ高水準。米国株高やナイト・セッションの日経平均先物が大証終値比 270 円高の 2 万 8740 円まで上昇したことを背景に、投資家のリスク志向が改善すると円売り・ユーロ買いが優勢となり、一時 130.59 円と 7 月 13 日以来の高値を付けた。

ユーロ円以外のクロス円も買いが目立った。ポンド円は一時 152.20 円、豪ドル円は 81.53 円、NZ ドル円は 78.31 円まで値を上げた。

ドル円は小幅下落。終値は 109.94 円と前営業日 NY 終値 (110.01 円) と比べて 7 銭程度のドル安水準だった。株価の上昇を受けたリスク・オンのドル売り円売りが同時に目立ったため相場は方向感が出なかった。市場では「テーパリング (量的緩和の縮小) 開始の時期を占う意味で重要な、明日の 8 月米雇用統計の結果を見極めたい向きが多い」との声も聞かれた。今日一日の値幅は 20 銭程度と小さかった。

カナダドルは堅調だった。米ドルカナダドルは一時 1.2548 カナダドル、ユーロカナダドルは 1.4893 カナダドル、カナダドル円は 87.64 円までカナダドル高に振れた。原油先物相場の大幅上昇を受けて、産油国通貨とされるカナダドルに買いが入った。

なお、市場では 8 日のカナダ銀行の政策金利発表や 20 日のカナダ総選挙に注目が集まっている。

【本日の東京為替見通し】今夜は米 8 月雇用統計、「デルタ株」と「人手不足」が波乱要因か

本日の東京外国為替市場のドル円は、今夜発表される米 8 月雇用統計を控えて動きづらい展開が予想される。

米 8 月雇用統計の非農業部門雇用者数の予想は、前月比 75 万人の増加、最小予想は+37.5 万人、最大予想は+102.7 万人となっている。8 月の雇用統計が 7 月同様に労働市場の改善傾向を示す内容だった場合は、9 月 21-22 日の米連邦公開市場委員会 (FOMC) で、年内のテーパリング (資産購入の段階的縮小) 開始が協議されて公表される可能性が高まることになる。一方で、新型コロナウイルスのデルタ株感染拡大や労働市場の人手不足などの影響で、予想を下回る増加幅だった場合は、テーパリングの開始時期が年末から来年以降に先送りされる可能性が高まることになる。

8 月の米国雇用関連指標は、デルタ変異株の感染拡大により外食などサービスへの消費支出が大幅に減少している可能性、企業の人材確保が依然困難なことを示唆している。

米供給管理協会 (ISM) が発表した 8 月 ISM 製造業雇用指数は、労働者不足により、昨年 11 月以来の低水準となる 49.0 に低下していた。ADP リサーチ・インスティテュートが発表した 8 月全米雇用報告も、民間部門雇用者の増加数が 37.4 万人に留まり、7 月の+32.6 万人からは増加していたものの、企業の人材確保が依然困難であることが示された。7-8 月の雇用の伸びは、2 カ月の増加幅としては年初以来の最小となっている。

本日のドル円のオーダー状況は、110.00 円の本日の NY カットオプションを軸にして、上値には、110.20-40 円に断続的にドル売りオーダー、110.50 円にドル売りオーダーが控えている。下値には、109.80 円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売り、109.30-70 円に断続的にドル買いオーダー、109.00-10 円に断続的にドル買いオーダーが控えている。

ドル円のテクニカルポイントとして、一目均衡表の雲の上限 110.16 円、雲の下限 110.11 円、転換線 109.92 円、基準線 109.76 円、そして 21 日移動平均線 109.94 円、90 日移動平均線 109.86 円などに要注目か。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>
特になし

<海外>

- 10:45 ◎ 8月 Caixin 中国サービス部門購買担当者景気指数 (PMI、予想 : 52.0)
- 15:45 ◇ 7月仏財政収支
- 16:00 ◎ 8月トルコ消費者物価指数 (CPI、予想 : 前月 0.60% / 前年比 18.70%)
- 16:50 ◎ 8月仏サービス部門 PMI 改定値 (予想 : 56.4)
- 16:55 ◎ 8月独サービス部門 PMI 改定値 (予想 : 61.5)
- 17:00 ◎ 8月ユーロ圏サービス部門 PMI 改定値 (予想 : 59.7)
- 17:00 ◇ 8月ノルウェー失業率 (予想 : 3.0%)
- 17:30 ◎ 8月英サービス部門 PMI 改定値 (予想 : 55.5)
- 18:00 ◎ 7月ユーロ圏小売売上高 (予想 : 前月比 0.1% / 前年比 4.8%)
- 21:30 ◇ 4-6 月期カナダ労働生産性指数 (予想 : 前期比 1.6%)
- 21:30 ☆ 8月米雇用統計 (予想 : 非農業部門雇用者数変化 75.0 万人 / 失業率 5.2% / 平均時給、前月比 0.3% / 前年比 4.0%)
- 22:45 ◎ 8月米サービス部門 PMI 改定値 (予想 : 55.2)
- 22:45 ◎ 8月米総合 PMI 改定値
- 23:00 ☆ 8月米サプライマネジメント協会 (ISM) 非製造業指数 (予想 : 61.5)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

2日 07:03 ホワイトハウス

「石油輸出国機構(OPEC)が原油生産の段階的な拡大を続けることを歓迎」

2日 12:52

「バイデン大統領はカリフォルニア州の緊急事態宣言を承認し、先月14日から続くカルデア火災に対する連邦政府の支援を命じた」

2日 10:09 中国国家ラジオテレビ総局

「文化プログラムの規制強化へ」

「過度な高給に強く反対、脱税取り締まりへ」

2日 10:37 片岡日銀審議委員

「2%物価目標にむけたモメンタムは維持されていない」

「物価目標を早期達成し、経済が成長軌道に復することを支援する政策が必要」

「感染症の影響注視し、必要なら躊躇なく追加緩和を実施」

「世界経済の先行きには感染症動向などリスク要因、当面は下振れリスクに引き続き留意」

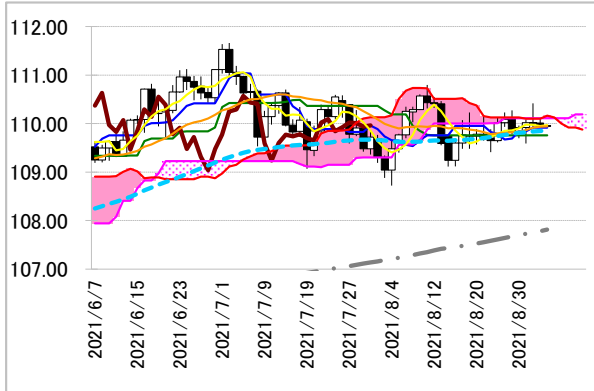
2日 23:23 ドラギ伊首相

「イタリア経済は予想以上に成長」

「2022年前半は経済が変化し、より構造的に健全となるかを判断する上で重要」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

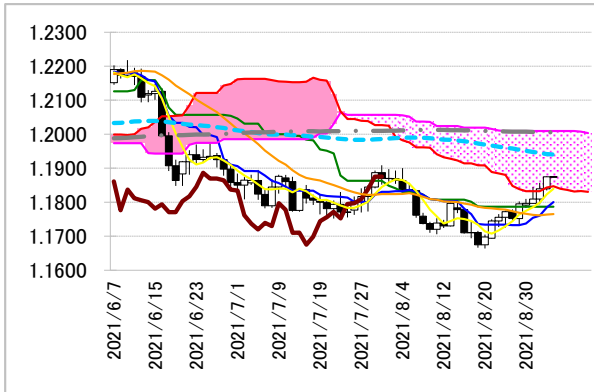


<ドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・雲の下で引けているものの、一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、買いシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線で反落しているものの、転換線を上回って引けていることから反発の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	111.66(7/2 高値)
レジスタンス 1	110.80(8/11 高値)
前日終値	109.94
サポート 1	109.76(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	109.11(8/16 安値)

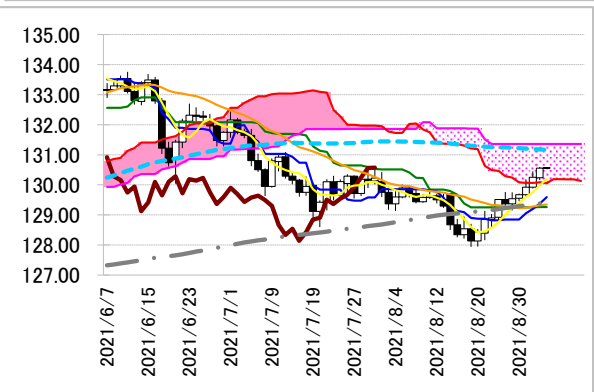


<ユーロドル＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることから買いシグナルが優勢な展開となっている。5手連続陽線で上昇して、転換線を上回って推移していることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1909(7/30 高値)
前日終値	1.1875
サポート 1	1.1801(日足一目均衡表・転換線)

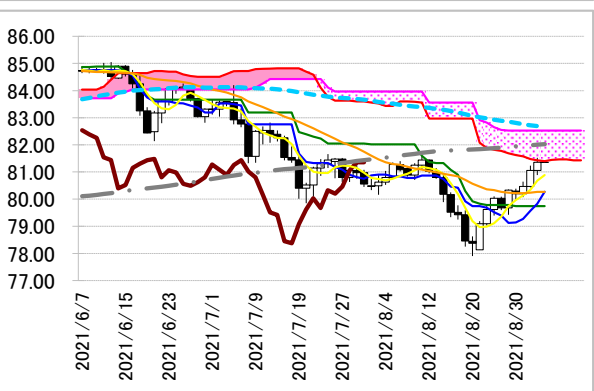


<ユーロ円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・雲の中で引けているものの、一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回っており買いシグナルが優勢な展開となっている。5手連続陽線で上昇して、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	131.37(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	130.56
サポート 1	129.60(日足一目均衡表・転換線)



<豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・雲の下で引けたが、一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けていることから続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	82.52(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	81.36
サポート 1	80.28(日足一目均衡表・転換線)

